

一年を通して使用されているウール製品の取扱いについては十分に周知されているはずですが、いまだにフェルト化による収縮などの事故が発生しています。今回は、着用によるフェルト化を紹介します。

監修／クリーニング総合研究所

素材特性に注意

クリーニング処理方法に注意

**衣類の状態**  
セーターの両袖脇下部分が毛羽立ちつて、編目が詰まつたような状態になっている。

**原因**

着用中の汗と、もみ作用によりフェルト化したもの。

**フェルト化**

ウールの表面はうろこ状のスケールで覆われており、水分を

含むとスケールが開く（図表1）。この状態でもみ作用等の物理的作用が加わると、スケール同士が絡み合つて離れなくなり、毛羽立ちや収縮が生じる。この現象をフェルト化という。

**事故の防止対策**

現品の場合、着用中の汗とともに作用に原因があるため、クリーニングでの抜本的な防止対策はない。

クリーニングの受付時には、カーディガンやワンピース、ジャケットなどの上衣は脇下やひじ内

**ドライクリーニングでのフェルト化防止対策**

側部分、ズボンなどの下衣は股下やひざ裏部分などを点検して、異常がある場合には利用者と共に確認をすることが必要。

●**予備乾燥**：製品自体に含まれる汗や水分などを予備乾燥で除去する。ただし、タンブル乾燥機を使う場合には、タンブルの回転がフェルト化の原因になることがあるため注意が必要



両袖脇下部分が毛羽立ち、編目が詰まつたような状態になっている



- 品名…セーター
- 素材…毛 100%
- 取扱表示…     
- 処理方法…石油系溶剤によるドライクリーニング、加熱静止乾燥

- 「衣料管理情報」は全ク連ホームページからPDFをダウンロードいただけます。  
全ク連HP <https://www.zenkuren.or.jp>  
「お知らせ」→「衣料管理情報」